



社会参加の一步

休業期間を活用し、校外の大会等に参加し、蓄えてきた力を発揮する機会を得たとの嬉しい報告が届いています。こうしたチャレンジは身に付けた力を一般化・普遍化する絶好の機会です。一部を紙面で御紹介いたします。

7/21 (金) ポッチャ甲子園 ベスト8!

第2回「ポッチャ甲子園」(全国肢体不自由特別支援学校ポッチャ大会)が港区スポーツセンターを会場に開催されました。参加校は北海道から沖縄までの36校と倍増し、肢体校をつなぐ唯一のスポーツの全国大会として「甲子園」の風格を有してきました。

本校S部門選抜チームは、前回は1回戦での敗退でしたが、今回は1回戦で北海道の岩見沢特別支援学校、2回戦で広島県の広島特別支援学校に勝利し、「全国ベスト8」に輝きました。部活動や授業で磨き上げた技術力・集中力を存分に発揮していました。チーム光明の4名の学園生には、学校代表としての自覚がみなぎり、逞しさを感じ取ることができました。祝 健闘!

S部門学園生チームが堂々3位入賞!

7/22 東京都障害者スポーツ大会ポッチャ部門

東京都スポーツ大会のポッチャ部門の競技会が東京体育館サブアリーナで開催されました。本校は競技部門に3チーム、交流部門に5チーム、合計8チームが参加しました。他の特別支援学校でこのチーム数が参加しているところはありません。普段の授業や部活動で、生徒が意欲的に活動している成果です。競技部門では、社会人チームとの闘いにも勝利し「都内第3位」となりました。参加チーム全体・見学保護者・教員が一体となったの応援も力となったようです。祝 健闘!

7/29 (土) 東京都公立学校ポッチャ交流大会

小・中学校や高校の児童・生徒も参加し、第1回東京都公立学校ポッチャ交流大会が都立府中けやきの森学園体育館で行われました。学校対抗部門と交流部門に分かれて競技が行われ、本校S部門より学校対抗部門に1チーム参加しました。大会初参加の4名は、実力を十分に発揮し、第3位に輝きました。応援に駆け付けた保護者から「とても集中して、日頃の練習以上の力が本番で出ました」、「学校以外での環境でも力が発揮できる素晴ら

しさを知った」との感想も寄せられました。

B部門生徒：けん玉ワールドカップ2017参加

本校B部門高等部第2学年の吉富大起さんが、7月23日(日)広島県廿日市市(はつかいちし)で行われた世界大会に参加しました。プロ部門、アマチュア部門、一般部門に511人が参加し、吉富さんは一般部門で第2位、全体(つまり世界ランキング)では216位の好成績を上げました。1年余りの鍛錬での成果です。多くの努力の蓄積があったことでしょう。祝 健闘!

第60回全肢P連・校長会合同研究大会開催!

各都道府県の肢体不自由校が持ち回りながら、60年間続いている「全肢P連・校長会合同研究大会」が8/20・21の2日間、東京ドームホテル等を会場に開催されました。約800人の参加者が集い、特別講演や分科会、卒後をテーマにしたシンポジウム、文部科学省の視学委員である菊池桃子様のスピーチ、ゴルゴ松本様の「命の授業」等、内容の濃い大会となりました。

本校のPTAも以前から大会運営準備に従事してこれられました。併せて分科会「医療」では「医療的ケアを必要とする児童・生徒の卒業後の支援」を本校PTAが全国調査のデータを交えて発表しました。

この東京大会には、本校から多数の保護者が運営スタッフや発表スタッフとして活躍されました。また教員の会員も補佐として加わりました。力を尽くしてくださった皆さんに改めて感謝いたします! 祝・大会成功!

第59回全病連研究協議会「大分大会」開催!

光明学園として初参加となる病弱虚弱教育研究連携研究協議会の全国大会について御報告します。全国から病弱教育に関わる校長・PTA保護者会員・教職員の総勢約300人が集まり、講義や分科会等を通して学び合いました。記念講演には宮崎県の病弱養護学校で学校生活を送られたカウンター・テナー歌手の米良美一様が登壇され、骨形成不全の持病と闘いながら、プロ歌手の道に至った体験談をお話しくださり、盛り上がりました。今回、全国の病弱教育で学ぶお子さんたちのために米良様自身で「まどをあけて」の歌を作曲・歌唱してくださいました。CDが届きましたので、始業式の場で試聴しました。

校長 田村 康二郎